

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	自然災害についても机上を含めた訓練の機会を持つ必要があると思われる。備蓄は準備しているが適切な量であるかなど課題もあり、リストを作成し必要な品を備えて行かれることを期待したい。	十分な備蓄品や緊急時の確保と協力体制を充実していくと共に、防災管理者資格取得者と増やして、施設内での防火意識を高めていく。	安全対策委員会を中心に災害時対応の話し合いを行う中で、備蓄品や緊急時の用具等の見直しや選定をする。その都度購入していくと共に、勉強会を中心に、当施設での防災活動へ参加を依頼し、非常時の協力体制の充実、BCP作成に努めていきます。	12ヶ月
2	4 (3)	地域包括支援センターや自治会長、民生委員、保育園等へ参加を呼びかけると良いと思われる。まずは挨拶回りからスタートし、参加を依頼する事など検討頂きたい。	運営推進会議から施設の活動を伝えていく中で、地域住民から、良いアドバイスが得られる様、努めていく。又、地域住民との交流を深めていきたい。	コロナ流行前、小学校からは職場体験、保育園からは利用者様と一緒に七夕の飾りつけなど行っていました。コロナも緩和され、地位との交流を再開し、地域住民との交流を深めていきたい。住民の方が気軽に立ち寄れるような環境を整え、運営推進会議をよい良い会議にしたい。	12ヶ月
3	54 (20)	面会を控えている家族にとって居室内の状況は気になる点と思われる。職員による掃除や衣替え、ペランダでの布団干しなどホームの取組を家族へ伝える事で安心につながると思われる。	イベント事、以外にも職員による取組、利用者の生活状況などを家族の方に報告し安心していただく。	イベント事、以外にも職員による取組、利用者の生活状況などを家族の方に報告する。コロナも緩和し面会も居室内で行えよう環境を整えていく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。